

■阪本清一郎 社会運動家。〔水平社〕名考案し創立全国大会開催。戦時下の国家社会主義経て、戦後は部落解放同盟リード。

さかもとせいいちろう

大本教・・・1892＝ 奈良県南葛城郡拔上村(御所市)の地主で膠製造業を営む清三郎の次男に生まれる。

日清戦争始・1894＝ 2歳：

田中正造直訴1901＝ 9歳：

日露戦争終・1905＝13歳：

伊藤博文暗殺1909＝17歳：この頃、差別から逃れて満州に渡り、

韓国併合・・・1910＝18歳：

大逆事件判決1911＝19歳：2年後に帰国。

明治天皇没・1912＝20歳：

家業の膠製造業の技術修得のため_上京し、

遊学中の_西光万吉とともに、山川均・堺利彦・大杉栄らに近づいて影響を受ける。

ベルリン条約・1919＝27歳：_西光万吉・駒井喜作ら同郷の青年たちと〔燕会〕を組織し、消費組合運動による部落の生活改善をはかる。また社会問題研究部を設けて部落問題の研究を進め、大和同志会の部落改善運動に批判を加えた。

大暴落・・・1920＝28歳：_西光と日本社会主義同盟に参加し、解散後は水曜会のメンバーとなり、

原敬首相暗殺1921＝29歳：*_西光・駒井らと、奈良に水平社創立事務所を開設(水平社の名称を考案)、

水平社結成・1922＝29歳：_京都で全国水平社創立大会を開いて経過報告を行い、
_本部理事(のち常任中央委員)として地方水平社の結成と差別糾弾闘争の指導に奔走。

金融恐慌・・・1927＝35歳：労働農民党の中央委員に選ばれ、

共産党事件・1928＝36歳：

世界恐慌・・・1929＝37歳：大和無産統一党結成の中心となり、掖上村村会議員に最高位で当選した。

満州事変・・・1931＝39歳：_奈良県の舟木医師差別事件を大衆的闘争によって解決し、これを「扉を開く」にまとめた。

_全水奈良県連合会委員長をつとめる一方で、

帝人疑獄事件1934＝42歳：*_西光・米田富らと、大日本国家社会党に入党、国家社会主義の〔街頭新聞〕を創刊して、

_親軍と戦争協力の道を進むも、

日中戦争始・1937＝45歳：

健保+総動員 1938＝46歳：_45号で〔街頭新聞〕が廃刊となる。

日米開戦・・・1941＝49歳：

敗戦・・・1945＝53歳：敗戦後は、

新憲法公布・1946＝54歳：結成された*_部落解放全国委員会の顧問、

独立回復・・・1951＝59歳：

55年体制始・1955＝63歳：_以降、部落解放同盟の中央委員を長くつとめ、

安保闘争・・・1960＝68歳：

東京リビック 1964＝72歳：

大学紛争始・1965＝63歳：_全水活動家の〔荊冠友の会〕の代表委員、

石油ショック1973＝81歳：

角栄金脈辞任1974＝82歳：_部落解放運動の統一と刷新を図る有志連合結成の呼び掛け人となり、

クアランゴール事件1975＝83歳：_部落問題全国会議の代表幹事をつとめるなど、部落解放運動の大先輩として重きをなして、

竹下内閣・・・1987＝95歳：_没した。